

平成 17 年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

第 1 問（配点 25 点）

本問は、D 社が抱えている問題点を、財務分析の面からの確に指摘できる能力を確認するために、自ら適切な経営指標を選択し、その名称および算出方法が正しく理解されているか、さらに問題点を論理的に表現できるかを問うものである。

第 2 問（配点 25 点）

（設問 1）

経営計画を作成する際には、その投資が経営上どのような結果をもたらすかを財務諸表上でも表現して分析できることが求められるが、本問は、まず D 社の設備投資案の諸条件から予想財務諸表を作成する能力を問うものである。

（設問 2）

本問は、（設問 1）で作成した予想財務諸表から、当該設備投資案の特徴や問題点を的確に分析できる能力を問うものである。

第 3 問（配点 25 点）

（設問 1）

本問は、D 社の平成 16 年度財務諸表の数値を用いて、損益分岐点分析の基本的な知識をもとにして、具体的に数値計算ができる能力を問うものである。

（設問 2）

本問は、損益分岐点分析の視点から分析した際に、設備投資案によって経営状態がどのように変化するかを的確に把握できる能力を問うものである。

第 4 問（配点 25 点）

（設問 1）

本問は、不確実性を有する経営意思決定を行う際に、発生する可能性のある事象とその確率からの期待値の算出方法について理解しているかを問うものである。

（設問 2）

本問は、段階的な経営意思決定における代替案の検討において用いられるデシジョンツリーの考え方と、その計算方法およびその結果の判定能力を問うものである。

以上